

平成29年度（第23期）にいがた市民大学
「2050年の新潟市を展望する一次世代の地域活性化への処方箋―」公開講座

「新時代の人材育成に向けて
―小林虎三郎の「米百俵の精神」を手がかりに―」 実施概要

【会場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階）

【日時】 平成29年8月19日（土） 午後4時～午後6時

【講師】 原 陽一郎 氏 （長岡大学名誉教授）

【参加者】

計 49名

（内訳）

- ・ 講座受講生 25名
- ・ 一般参加者 22名
- ・ 関係者 2名

【内容】

前半は、小林虎三郎の「米百俵の精神」や、地元長岡に残したもの、全国に及ぼした影響、「興学私議」の論理についてお話いただきました。

後半では、小林虎三郎の考えを軸に、社会人として必要な能力、リーダーの能力、人材育成の成功モデルなどについて具体例を交えながら説明がありました。

最後に、これからの時代に必要な能力として、専門能力、コミュニケーション能力がすべての社会人の必須条件になるとまとめていただきました。



平成29年度（第23期）にいがた市民大学
「思春期・青年期・成人期のこころの健康講座」公開講座

「うつ病とこころの健康」 実施概要

- 【会場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6番町866）
- 【日時】 平成29年8月25日（金） 午後7時～9時（開場 午後6時30分）
- 【講師】 大野 裕 氏 （認知行動療法研修開発センター 理事長）
- 【参加者】 計 179名 （内訳） ・講座受講生 68名
・一般参加者 109名
・関係者 2名

【内容】

講師には、近年精神医療の現場で注目されている認知療法（認知行動療法）の日本における第一人者である大野裕氏をお迎えし、「うつ病とこころの健康」というテーマでご講義いただきました。

私たち誰もがストレスに出会ったときに意識しないで使っている対処法をまとめた認知療法に基づいて、考えや行動をしなやかにして問題解決能力を高め、気持ちを軽くする「10のヒント」についてお話いただきました。

ほどほどのストレスがかかった状態は、まったくストレスの無い状態に比べパフォーマンスが向上するそうですが、過度のストレスからこころを守るために、自分の良いところを生かす考え方や、対人関係における自分の気持ちの上手な伝え方、自分に優しい生活を送るための上手に眠るコツなど、認知行動療法をこころの健康に生かすコツを教えていただきました。

うつ病を経験した方のテレビインタビューや、こころの健康を害した方との大野先生の面談の様子を撮影した映像など、重いテーマで深刻な内容のお話もありましたが、ご自身の失敗談や愛媛県のイメージキャラクターで、ゆるキャラの「みきゃん」などを使ってお話いただき、会場からは時折笑い声がもれる和やかな雰囲気でご講義いただきました。



平成29年度（第23期）にいがた市民大学
「人間と動物のつながり—動物が私たちに教えてくれること—」公開講座
「トキが暮らす佐渡の自然と人間」 実施概要

【会場】 新潟市民プラザ（新潟市中央区西堀通6-866 NEXT21 6階）

【日時】 平成29年8月26日（土） 午後1時～午後3時

【講師】 永田 尚志 氏
（新潟大学研究推進機構 教授）

【参加者】

計 54名

（内訳）

- ・ 講座受講生 37名
- ・ 一般参加者 16名
- ・ 関係者（講座コーディネーター）1名



【内容】

トキの生態から野生復帰に向けた取り組み、放鳥したトキの将来に至るまで動画や実際の取り組み事例などを交えつつ、ご講義いただきました。

取り組み事例の一例として、トキを放鳥する際にはトキが稲を踏んでしまう恐れがあるため農業関係者との合意形成や行政官の連携が課題として挙げられたこと、そしてその解決策として栽培者をトキの餌となる生き物を育むこと（魚が田んぼに入り込むことができる場所（江）をつくる）を条件にエコファーマーとして認定し、その栽培者が作ったお米は「認定米」として付加価値を付けて売ることができるようにした、というお話をしていただきました。

最後には、番い相手は一生涯連れ添うと言われてきたが実際は変わることもあるということや成鳥の年間生存率は78%と決して低い値ではないことなど、トキを放鳥して初めて判明したことをご紹介いただきつつ、今後の課題をお話いただきました。

